

8

エラーチェックとその対処方法

取り込み・分類への仕分け・写真情報の入力をおこなった写真について、各基準に則っているかチェックをおこないます。

8-1 写真情報のエラーチェック

入力した写真情報や写真データ自体が基準に則っているかチェックする方法について説明します。

則っていない状態のままでも成果作成はできますが、その原因を発注元に説明しなくてはならない場合があります。

修正が必要か、そのまま成果作成・提出してよいのか不明な場合は発注者に確認してください。

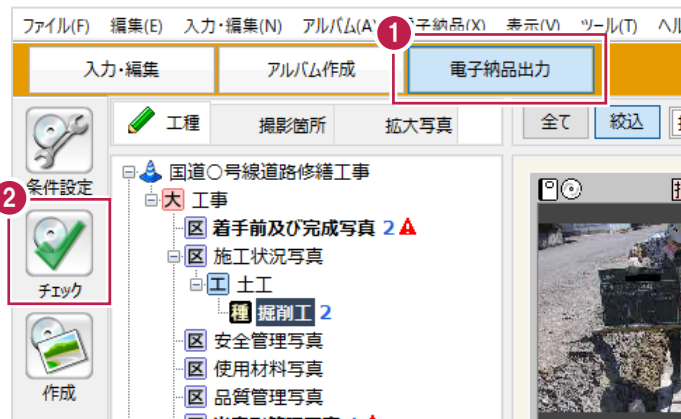
ここでは、チェックの実行と、チェック結果の確認方法を説明します。

① 画面上の「電子納品出力」をクリックします。

② 「チェック」をクリックします。

写真情報に関するチェック結果が表示されます。

③ 赤い文字（エラー項目）をクリックして画面下から該当の写真やエラー内容を確認します。

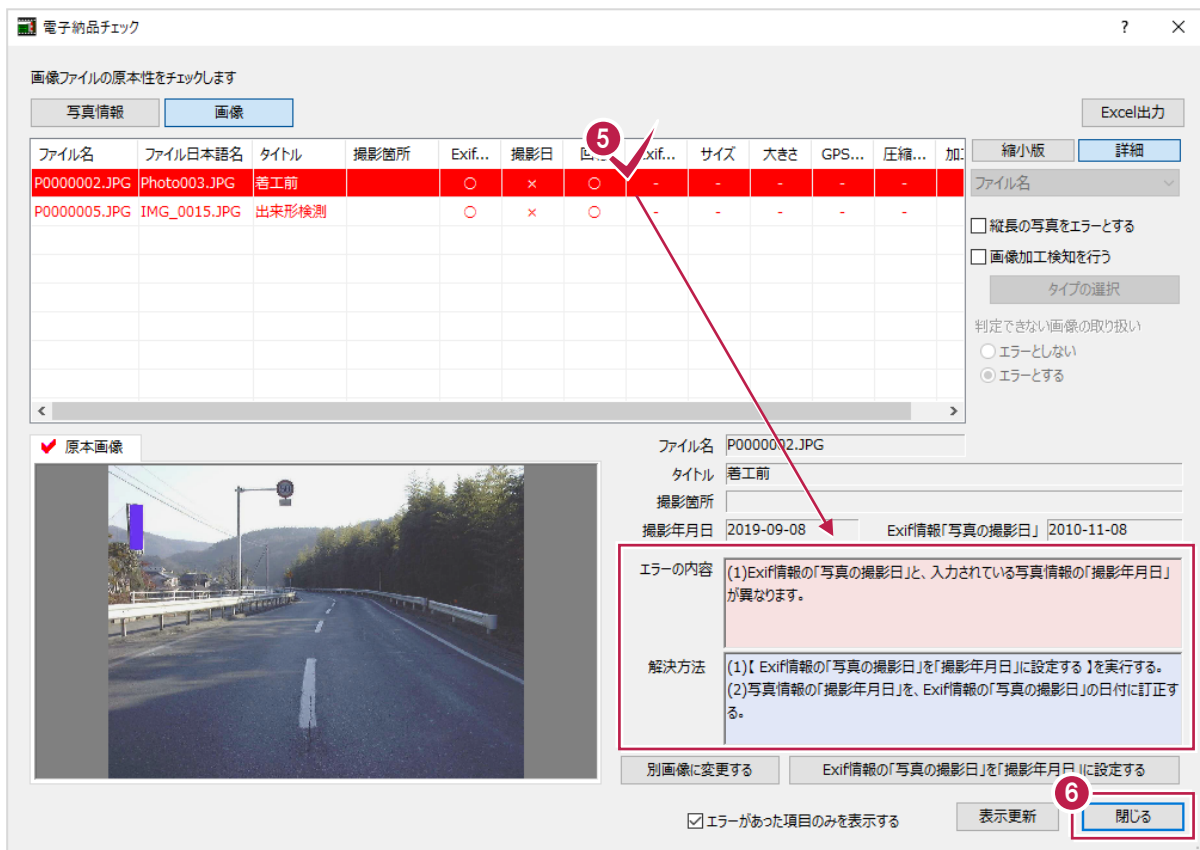


- 4 次に写真データ自体のチェックをおこないます。
 (写真が改ざんされたと判断されないかなどをチェックします。)
 [画像] をクリックします。



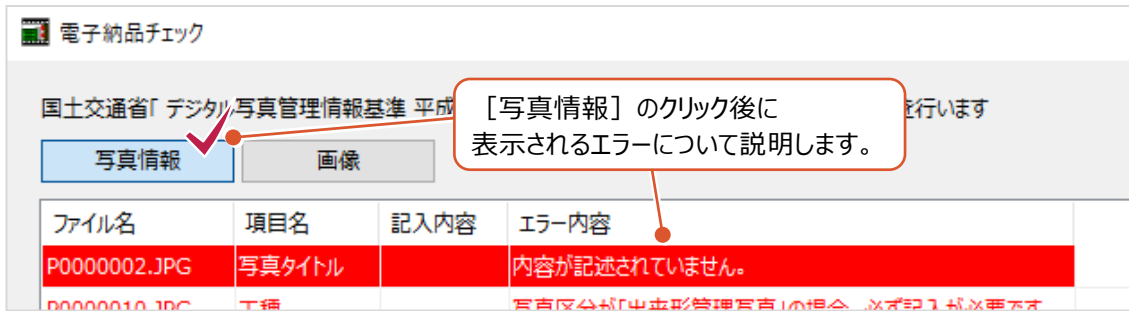
- 5 赤い文字 (エラー項目) をクリックして画面下から該当の写真やエラー内容を確認します。

- 6 [閉じる] をクリックして画面を閉じ、確認作業を終わります。

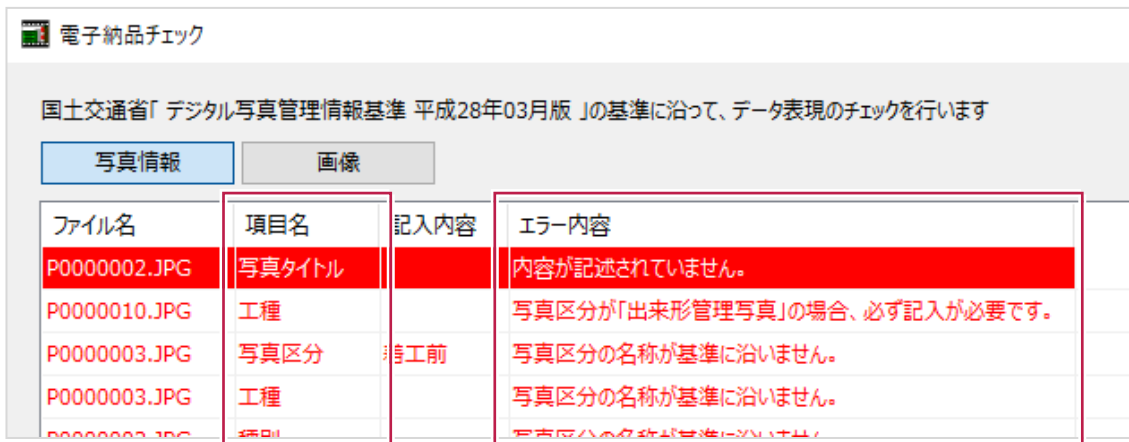


8-2 【写真情報】でのエラーと対処方法

「8-1 写真情報のエラーチェック」の操作で表示される結果のうち、
【写真情報】でのエラーに関してよくお問い合わせいただく内容の原因と対処方法を説明します。



まず【項目名】欄と【エラー内容】欄の文言を確認してください。



確認した文言・内容に該当するものを下表から探し、次ページ以降の対処方法を確認してください。

項目名	記入内容（例）	エラー内容	対処方法
写真タイトル		内容が記述されていません。	写-1
工種		写真区分が「出来形管理写真」の場合、必ず記入が必要です。 写真区分が「品質管理写真」の場合、必ず記入が必要です。	写-2
種別			
写真区分	着工前	写真区分の名称が基準に沿いません。	写-3
シリアル番号	1	番号が重複しています。	写-4
写真ファイル名	1	同じファイル名が記入されています。	写-5
写真タイトル	基礎コンクリート	機種依存文字が使用されています。	
写真ファイル 日本語	着工前.JPG	半角カタカナが使用されています。 全角の英数字が使用されています。	
参考図ファイル 日本語	A地点.JPG		
撮影箇所	No. 1		
参考図タイトル		内容が記述されていません。	写-6

項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-1
写真タイトル		内容が記述されていません。	

原因は 写真1枚1枚に必要な「写真タイトル」の情報入力がないためです。

対処方法は チェック結果画面右下に表示される「写真タイトル」欄をクリックして、キーボードで文字入力します。

もしくは、「7-2 写真情報の入力」などを確認しながら「写真タイトル」欄への入力をおこないます。

項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-2
工種 など		写真区分が「出来形管理写真の場合、必ず記入が必要です。	

原因は 写真区分の分類「出来形管理写真」など下位に基準上必要な分類が作成されておらず、「出来形管理写真」の中などに写真が入っているためです。
（「出来形管理写真」以下で工種・種別など作って細分化しなくてはならないが、されていないためです。）

対処方法は 「5-1 手入力での分類作成」やその補足「作成すべき分類について」などを参考にして基準上、最低限作成しなくてはならない分類を確認後、分類作成と写真の仕分けをおこないます。
（基準やその年度によって、最低限作成しなくてはならない分類は異なるため、注意してください。）

項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-3
写真区分	着手前	写真区分の名称が基準に沿いません。	

原因は	<p>写真区分の分類については、基準上で決められた名称を使用するよう記載されています。この名称以外のもが使用されているためです。この名称は1文字でも異なるとエラーと判断されます。</p>
対処方法は	<p>「5 分類の作成」の冒頭部分にある補足「基準に則った「写真区分」の分類作成ついて」を参考にして「写真区分」の分類を作成後、その下位に写真を移動してください。</p> <p>または、現在の「写真区分」の分類名称を変更して、基準に則った文字に変更してください。</p>

項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-4
シリアル番号	1	番号が重複しています。	

原因は 各写真には、「シリアル番号」と言われる通し番号がつけられます。
また、同じイメージで「P0000001.JPG」「P0000002.JPG」などの「写真ファイル名」がつけられます。
この「シリアル番号」、「写真ファイル名」が複数の写真で重複しているためです。

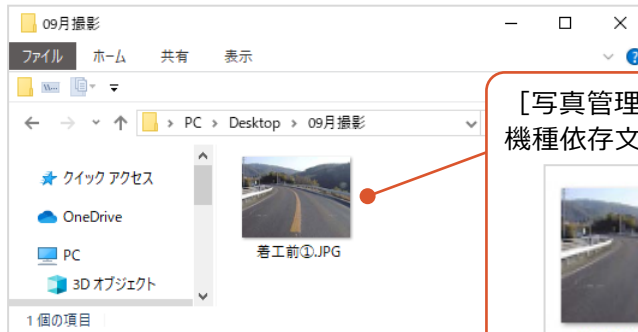
対処方法は [番号整理] ボタンを利用して、シリアル番号をつけなおしてください。
ボタンは、[入力・編集] もしくは [電子納品出力] が選択されている状態で、左側に表示されます。



項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-5
写真ファイル 日本語	着工前.JPG	機種依存文字が使用されています。	

原因は

基準には、分類名や写真情報、写真ファイル日本語名など、ほぼ全ての情報項目共通して『『機種依存文字』や『半角カタカナ』などを使用してはいけない』旨の記載があります。それらの文字が入力されているためです。よくあるのは、登録前の写真ファイル名に機種依存文字が使用されている場合です。



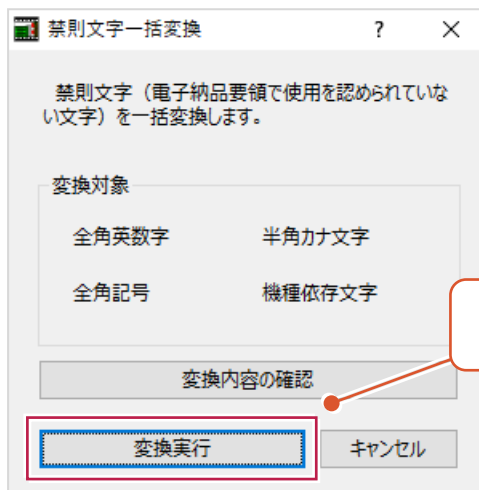
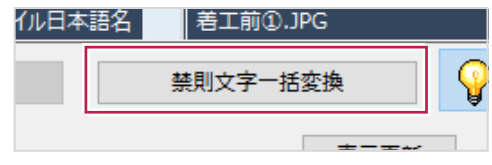
【写真管理】プログラムに取り込む前の写真に機種依存文字「①」が使用されている例



『機種依存文字』とは「①」「m」「株」などの省略文字や、全角英数字などで、別のパソコンで開いた場合に文字化けしてしまったりする可能性がある文字です。

対処方法は

チェック結果画面の右下にある【禁則文字一括変換】ボタンから自動修正をおこなってください。



【変換実行】をクリックすると、エラー判断されていた文字が自動修正されます。

項目名	記入内容（例）	エラー内容	写-6
参考図タイトル		内容が記述されていません。	



原因は 各写真に対して豆図や別の写真などの参考図を添付できますが、添付した参考図に対しても内容がわかるようなタイトル文字を入力する必要があります。そのタイトル文字が入力されていないためです。

対処方法は チェック結果画面右下に表示される「参考図タイトル」欄をクリックして、キーボードで文字入力します。

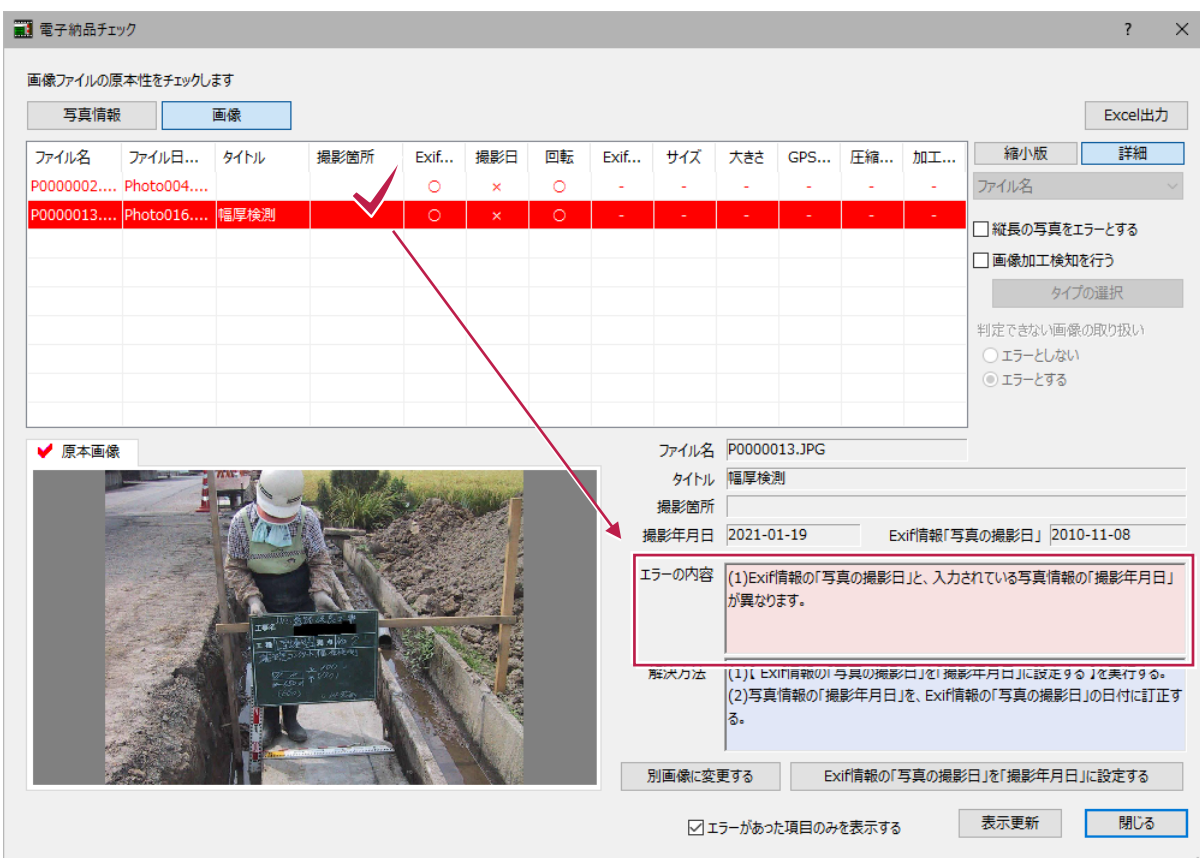
もしくは、「7-2 写真情報の入力」などを確認しながら「写真タイトル」欄への入力をおこないます。

8-3 【画像】でのエラーと対処方法

「8-1 写真情報のエラーチェック」の操作で表示される結果のうち、
【画像】でのエラーに関してよくお問い合わせいただく内容の原因と対処方法を説明します。



まずエラーと判断された行（赤い文字）をクリックして【エラーの内容】欄の文言を確認してください。



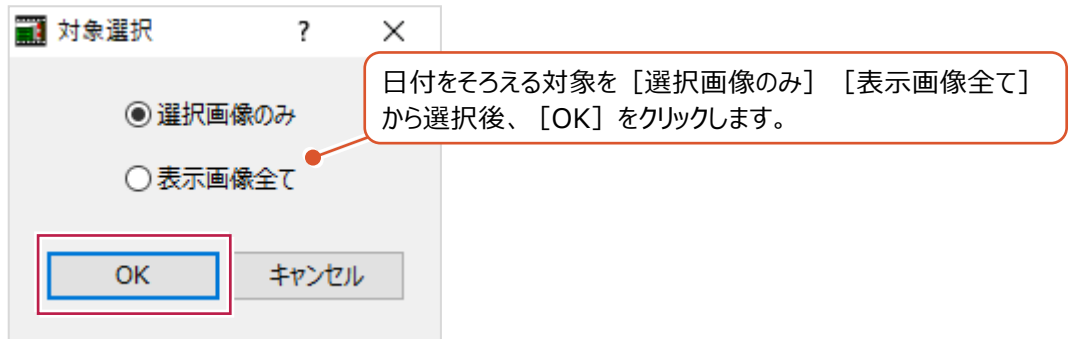
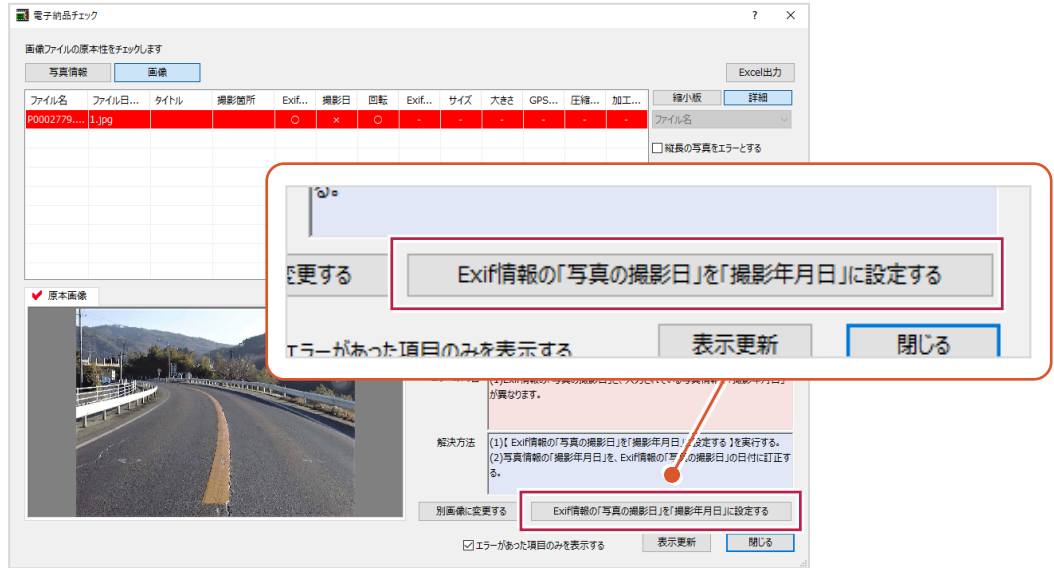
確認した文言・内容に該当するものを下表から探し、次ページ以降の対処方法を確認してください。

「X」のついた項目	エラーの内容	対処方法
撮影日	Exif情報の「写真の撮影日」と、入力されている写真情報の「撮影年月日」が異なります。	画-1
Exif情報	Exif情報がありません。デジタルカメラで撮影された写真ではない、もしくは撮影後に編集されている可能性があります。	画-2
	画像に加工検知情報が含まれていません。	画-3

「X」のついた項目	エラーの内容	画-1
撮影日	Exif情報の「写真の撮影日」と、入力されている写真情報の「撮影年月日」が異なります。	

原因は 写真データ自体に保存されているExif情報の「写真の撮影日」と、
 [写真管理] プログラム上で入力されている写真情報の「撮影年月日」が異なっているためです。
 もしくは、[写真管理] プログラム上で入力されている写真情報の「撮影年月日」が入力されていないためです。

対処方法は 写真データ自体に保存されているExif情報の「写真の撮影日」を適用すればよい場合は、
 画面右下の [Exif情報の「写真の撮影日」を「撮影年月日」に設定する] を使用して日付をそろえてください。



『 [写真管理] プログラム上で入力されている写真情報の「撮影年月日」』を使用したい場合についてですが、
 プログラム側では『写真データ自体に保存されているExif情報の「写真の撮影日」』の修正はできないようになっています。(写真データの編集・改ざんとみなされるためです。)

写真撮影時にカメラの日付設定に誤りがあった場合などは、
写真データ自体の日付修正などは一切せずに、その扱いについて発注者と協議をおこなってください。
 (エラーと判断された写真も、CDに書き込んだり、ビューアなどで内容を確認したりはできます。)

「X」のついた項目	エラーの内容	画-2
Exif情報	Exif情報がありません。デジタルカメラで撮影された写真ではない、もしくは撮影後に編集されている可能性があります。	

原因は	写真撮影時に、撮影年月日などのExif情報が写真データ自体に保存されますが、この情報がないためです。 ※ [写真管理] プログラムでは『写真データにExif情報がないこと』はチェックできますが、『なぜExif情報がないのか（なくなってしまったのか）』は判断できません。
対処方法は	[写真管理] プログラムでこのエラーを解消する方法はありません。 プログラム側では『写真データ自体に保存されているExif情報の「写真の撮影日」』の作成・修正はできないようになっています。（写真データの編集・改ざんとみなされるためです。） その扱いについて発注者と協議をおこなってください。 （エラーと判断された写真も、CDに書き込んだり、ビューアなどで内容を確認したりはできます。）

「X」のついた項目	エラーの内容	画-3
	画像に加工検知情報が含まれていません。	

原因は	RICOH社製のカメラ「G800」「G700」等を使用して写真撮影する場合と、デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用して写真撮影する場合に関する内容です。これらの機能を使用して写真撮影すると、Exif情報とは別に改ざん防止のための暗号化データが作成されます。このエラーは、その暗号化データ（加工検知情報）がないため表示されます。 ※「改ざんされている」と判断されているのではなく、「改ざんかどうか判断するための暗号化データ自体が無い」という意味合いです。
対処方法は	上記のカメラおよびソフトウェアを使用していない（使用する必要がない）場合は、不要なチェックによりエラー表示されています。 チェック結果画面の「画像加工検知を行う」のチェックボックスをオフにして、チェックしないようにしてください。

画像加工検知に関する暗号化データが必要な場合、
[写真管理] プログラムで作成することはできないため、その扱いについて発注者と協議をおこなってください。
（エラーと判断された写真も、CDに書き込んだり、ビューアなどで内容を確認したりはできます。）